

◆インドネシア・中部スラウェシ地震 第二次支援のお願い◆

2018年9月28日、インドネシア・スラウェシ島でマグニチュード7.5の地震が発生しました。死者は2081人、行方不明者は1300人以上、避難している住民は21万人を超える等、深刻な被害が出ています。(2018年10月28日現在)。

NPO法人書物の歴史と保存修復に関する研究会は、紙資料修復家・坂本勇氏の要請で支援協力を行っております。第一次支援に続き、第二次募金を受け付けます。

インドネシア・スラウェシ島地震 緊急支援募金

- ・ 一口1000円から募金を受け付けます。
- ・ 締め切りは 12月10日(月) です。
- ・ <郵便振込先>口座番号：00920-2-204118 加入者名：NPO法人 書物研究会

*10月14-19日に緊急支援物資とともに坂本氏が現地に入りました。現在、その被害状況調査結果に基づき、パル州立博物館などから復旧支援の要請が内外機関に出されています。

当会としては、要請中の復旧支援が届く前の、一番困っているパル州立博物館の散乱した陶磁器など収蔵品の、被災現場からの今後の修復作業に適した「エリアを区切って散乱した陶磁器を記録し、回収する作業」に「すぐに必要な“つなぎ支援”」を行いたいと思います。具体的には、輸送時にはたたんだままで、使用時に組み立てられ、フタのあるプラスチック箱(オリコン)50箱の調達費用17万5千円とジャカルタからパルへ輸送する費用5万円を第二次募金で募り、早急に支援したいと願います。

様々なご事情があるかと思いますが、当会が進める「カジノキ天の衣プロジェクト」の重要な地域という経緯もあり、第二次募金にお力添えいただければ有難く思います。

*現地の状況やパル州立博物館被害画像は、「中部スラウェシ地震」でネット検索いただき、当会HP <http://npobook.join-us.jp/> 等確認下さい。

*去る10月23日付紙面で坂本氏の現地調査記事を掲載した「じゃかるた新聞」は、連日のように中部スラウェシ取材記事を掲載しています。ネット検索し、ご覧ください。

スラウェシ島は「カジノキ天の衣」プロジェクトを進める当NPOにとっては
聖地とも言える地で、紙の起源やその伝播を解明する重要なところで
お寄せ頂きました募金は坂本勇氏を通じて、全額現地支援活動に使われます。
皆さまのご協力よろしくお願い申し上げます。